

# 「しまねっ子 すくすくプラン(後期計画)」の平成24年度末における進捗状況

「しまねっ子 すくすくプラン」における施策概要				平成24年度末における進捗状況						実施主体	
施策番号 及び 施策名称	事業名	事業期間	事業目標	現状値及び目標数値		24年度末 目標数値	24年度末 実績数値	進捗 状況	進捗状況に関するコメント	今後の見通し、25年度の取組方針等	担当課
				20or21年度	26年度						
<b>基本理念Ⅱ 安心して子どもを生み・育てることができる環境の整備</b>											
<b>基本施策2 子育てに関する多様な支援の充実</b>											
<b>2-① 親子の交流や相談の場の充実</b>											
◇親子の気軽な 交流の場の設置	H22～H26年度	地域子育て支援 拠点の箇所数 (市町村単独分も 含む)	H21 57か所	→	H26 62か所	-	59	順調である	つどいの広場事業については、平成19年度 から地域子育て支援拠点事業に統合され、 市町村計画に基づき推進されている。	子育てに関する不安感や負担感、孤立感を 緩和し、安心して楽しく子育てができるよう、 子育て中の親子が気軽に集い、交流や仲 間づくりを行うことができる場(子育てサロ ン、子育てサークル等)の活動を支援すると ともに、地域子育て支援拠点の設置を促進 する。	青少年家庭 課
			H20 90団体	→	H26 230団体	160	201	目標を達 成した			
	◇子どもと家庭電 話相談室の設置	H22～H26年度	年間電話相談件 数	1250	→	1500	-	1206	順調であ る	以前に比べ、相談件数は減っている。その 要因として近年、さまざまな相談電話が 出来たことにより、ニーズに応じた電話相 談での対応が出来るようになってきて分散 化していると思われる。	今後も引き続き1000件程度のニーズはあり、 子どもと家庭電話相談室の活動は必要と 考える。 保育所や小中学校のほか、医療機関等へ も子どもと家庭電話相談室のカードを配布 し、電話番号の周知に努める。また、視覚 障がいの方にも利用していただけるよう、25 年度も引き続き点字版を作成する。
◇子育てに関する 情報提供の充実	H22～H26年度	ホームページの年 間アクセス件数	H20 23,000	→	H26 25,000件	-	43,663	目標を達 成した	イベントカレンダー、こころ協賛店の新規 登録情報、子育てブログなど新着情報とし て発信し、リアルタイムで情報発信するよう 努めた。 また、キャンペーン、フェスタ等の期間はトッ ページにバナーを設け、情報を検索しや すいようにするなどHPの充実を図った。	子育てやワークライフバランス、縁結び等に 関する必要な情報を提供できるよう、情報 提供の充実を図る。	青少年家庭 課
<b>2-② 子どもの安心な預かり支援</b>											
◇通常保育の定 員数(受け入れ児 童数)の適正化	H22～H26年度	保育所入所児童 数	H21 20,388人	→	H26 21,245人	21000	2318	目標を達 成した	保育所の定員が計画目標を上回るなど、 市町村においては施設整備や定員管理で 保育ニーズへの対応に努められたが、都市 部を中心に需要の高まりが供給を上回り、 待機児童を解消するに至らなかった。	保育の実施主体である市町村と連携し、地 域ニーズに適切に対応した施設整備や定 員管理などにより、受け入れ児童数の増加 に取り組む。 特に、市町村保育計画を推進するための取 り組みについて、積極的に支援する。	青少年家庭 課
◇保育所等の運 営への支援	H22～H26年度	指導監査での文 書指摘率	H20 76%	→	H26 53%	60%	56.8%	順調であ る	目標数値を上回るペースで文書指摘率は 減少し、指導内容が保育所の運営に反映さ れていると考えられる。今後とも、適正な保 育所運営を確保できるよう、制度や基準の 周知に努め、指摘率を下げていく必要がある。	保育所入所児童の健全な心身の発達が図 れるよう、児童福祉法に基づき私立保育所 等の運営に要する経費を助成するほか、保 育士等の資質・専門性の向上のため研修 や適切な運営を確保するための保育所へ の指導監査を実施する。	青少年家庭 課
◇多様なニーズに 対応した子育て支 援サービスの充 実	H22～H26年度	延長保育の箇所 数	H21 214か所	→	H26 240か所	-	246	順調であ る	個別の事業目標ごとにおいては遅れている 部分もあるが、数値が伸びている事業もあ り、徐々に進捗している。	子育て支援交付金(ソフト交付金/国・市町 村)、特別保育推進事業(国・県・市町村)及 びしまねっ子すくすく保育支援事業交付金(県・市 町村)の活用により各市町村事業の推進を図 る。	青少年家庭 課
		休日保育の箇所 数	H21 27か所	→	H26 36か所	-	31				
		夜間保育の箇所 数	H21 3か所	→	H26 5か所	-	3				
		特定保育の箇所 数	H21 56か所	→	H26 65か所	-	61				
		病児・病後児保育 の箇所数(病児対 応型・病後児対応 型)	H21 17か所	→	H26 26か所	-	25				
一時預かり(一時 保育)の箇所数	H21 209か所	→	H26 223か所	-	216						
◇放課後児童健 全育成の推進	H22～H26年度	放課後児童クラブ 受入児童数	H21 4978人	→	H26 6,278人	-	5,996人	順調であ る	順調な進捗状況である。	平成19年度に創設された「放課後子ども プラン推進事業」等を活用し、教育委員会と連 携しながら事業実施主体である市町村への 支援を行う。	青少年家庭 課

「しまねっ子 すくすくプラン」における施策概要				平成24年度末における進捗状況						実施主体		
施策番号 及び 施策名称	事業名	事業期間	事業目標	現状値及び目標数値		24年度末 目標数値	24年度末 実績数値	進捗 状況	進捗状況に関するコメント	今後の見通し、25年度の取組方針等	担当課	
				20or21年度	→ 26年度							
2-③ 経済的負担への対応												
	◇子ども手当の給付	H22～H26年度	-	-	-	-	-	-	子ども手当の支給に関する法律の規定に基づき、中学校修了前までの子どもを養育している者に手当を給付した。	平成24年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法及び児童手当法の規定に基づき手当を給付する	青少年家庭課	
	◇保育料の軽減	H22～H26年度	-	-	-	-	-	-	平成15年度から事業開始し、平成20年度からは、市町村の自主性をより尊重した制度に見直し、実施市町村は19市町村となり、事業が定着しつつある。	引き続き、事業定着に努める。	青少年家庭課	
	◇乳幼児等医療費の助成	H22～H26年度	-	-	-	-	-	-	円滑な助成に努めている。(全19市町村実施。)	円滑な助成に努める。	健康推進課	
	◇特定不妊治療費の助成	H22～H26年度	-	-	-	-	799	-	平成17年度から事業を開始し、平成19年度からは制度を拡充し助成件数も増加している。平成24年度 助成件数799件	引き続き事業の周知に努める。効果的なPR方法に検討が必要である。	健康推進課	
	◇生活福祉資金の貸付	H22～H26年度	申込者のうち適格者に対する貸与率	H21 100%	→	H26 100%	100%	100%	目標を達成した	申込者のうち、適格者に対しては適切に貸し付けることができた。	申込者のうち適格者に対しては、適正かつ迅速に貸付を行う。	地域福祉課
	◇島根県高等学校等奨学金の貸付	H22～H26年度	申込者のうち適格者に対する貸与率	H20 72.9%	→	H26 100%	100%	100%	順調である	申込者のうち、適格者に対しては適切に貸し付けることができた。	引き続き他の修学支援制度(生活福祉資金・母子寡婦福祉資金)のPRや部局間の連携を図りこれらの制度も含め全体として二一スに広げられるようにしていきたい。	高校教育課
	◇生活支援資金(教育支援、育児・介護休業者支援)の制度融資	H20～H26年度	貸付残高(百万円)	H20 628百万円	→	H26 700百万円	700百万円	525百万円	順調である	来年度以降の貸付予定額を考慮する必要があり、実績は適当。	景気は持ち直しの動きがみられるものの、先行きが不透明な中、各支援については、今後も同程度の貸付が期待される。	雇用政策課